

補助事業番号 22-119

補助事業名 平成 22 年度 中東諸国の産業経済開発に対する協力推進補助事業

補助事業者名 財団法人 中東協力センター

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

中東地域は、我が国にとって石油・天然ガスの安定調達先として極めて重要である。原油高を背景に中東各国は従来の石油依存経済の脱却をめざし、外資導入による経済発展をめざしている。一方長年にわたる懸案事項であるパレスチナ問題に加え、2001年9月の米国同時多発テロに端を発するアフガン戦争、それに続くイラク戦争等の戦後処理など、政治的には引き続き不安定で緊迫した状態が続き、ビジネス面でのリスクは高い。特に産油国経済は上昇を続ける石油価格を背景にオイルマネーが流入し、昨今は著しく活況を呈してきている。

また中長期的にも、化石原・燃料資源の豊富な賦存状況、高い人口増加率等の面から、今後とも相対的に高い成長が見込まれる地域であり、我が国機械工業関係企業にとって、プラント、機械類を中心にしたビジネス・ポテンシャルは高く、我が国機械工業の振興に今後とも資するところ大なる地域である。

このように高いポテンシャルを持つこの地域で、日本の機械工業関係企業が欧米を中心とした競合先に伍してビジネス・チャンスを的確に捕捉し、取引実績・成果を上げていくためには、先ずその第一歩として、中東を巡る政治・経済情勢、文化、歴史、宗教等広汎な分野に亘り正確な理解が不可欠である。

当センターの国際交流、調査研究、研修等の貴振興会補助事業は我が国機械工業関係者に、中東についての最新の情報を提供し、中東におけるプラント、機械類を中心としたビジネスの拡大を目的とするものである。

(2) 実施内容等

① 国際交流

ア. イスラエル先端技術フォーラム

3月14日東京、3月16日大阪においてフォーラム開催を予定して準備をしてきたが、3月11日の東日本大震災発生により、共催のイスラエル大使館と協議の結果、延期を余儀なくされ、本年度内の事業実施は行えない状況となった。

② 調査・研究

ア. 中東・北アフリカ経済情勢調査

(i) 「中東における植物工場の展開の可能性に関する調査」

<http://www.e-search.ne.jp/~jccme/PDF/35-6-07.pdf>

日本から植物工場及び関連技術を中東諸国に輸出することを想定して、現地調査に基づく分析を行うことにより、サウジアラビアおよび UAE の 2 カ国を対象とした植物工場の展開可能性について、株式会社三菱化学テクノリサーチに委託した。株式会社三菱化学テクノリサーチ 主幹研究員三田雅昭氏および特別研究員馬場庸之氏により現地調査が実施された。

(ii) 「アラブ首長国連邦等における廃棄物処理・リサイクル分野への日本企業参入の可能性に関する調査」

<http://www.e-search.ne.jp/~jccme/PDF/35-6-03.pdf>

中東地域における廃棄物処理・リサイクル分野への日本企業参入の可能性について検討するため日本エヌ・ユー・エス株式会社に委託した。日本エヌ・ユー・エス株式会社 畔野尚史氏および濱田陽子氏により現地調査が実施され、財団法人中東協力センター 上月央主査が同行した。現地調査によりアブダビ、ドバイ両首長国における廃棄物管理体制、収集・運搬、処分及びリサイクルに関する情報を収集し、他の中東諸国の実態等については文献等で情報を収集した。現地調査は、首都のアブダビ市及びドバイ市を中心に行い、廃棄物管理の所管部局、廃棄物処理・リサイクル関連施設、現地企業および現地日本企業からのヒアリングを実施した。

イ. 中東・北アフリカ政治経済分析

変動著しい中東情勢や石油市場動向を的確に把握するために、最新の情報（論文）を海外の中東問題専門家から入手、分析・検討を加えて資料を作成し、会員企業他関係団体に配布した。また、論文は、中東協力センターのホームページへも掲載した。

論文 8 本は以下の通り。

- 1) バッサム・ファトウ氏およびハキム・ダルボッシュ氏（オックスフォード・エネルギー研究所）
「中東地域におけるトルコの外交上の役割」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-145.pdf>
- 2) サミール・プラダーン氏（ガルフ・リサーチ・センター）
「対イラン制裁が湾岸協力会議（GCC）に及ぼす影響」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-144.pdf>
- 3) サミール・プラダーン氏（ガルフ・リサーチ・センター）
「GCC 諸国における中国と韓国の影響力と実力」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/2011-02/03.pdf>
- 4) アンガス・ヒンドリー氏（MEED インサイト）
「中東・北アフリカ（MENA）地域における太陽エネルギープロジェクト」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/2011-04/josei05.pdf>
- 5) アンガス・ヒンドリー氏（MEED インサイト）
「中東・北アフリカ（MENA）地域における鉄道プロジェクト」

<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/2011-04/josei06.pdf>

- 6) コントロール・リスクス社
「イラクに関する脅威評価報告（最新情報）」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/11-19/11-01-143.pdf>
- 7) デュニア・フロンティア・コンサルタンツ
「イラクの消費財市場」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/2011-02/02.pdf>
- 8) サレム・チャラビ氏（DLAパイパーミドルイースト LLP）
「イラクの銀行セクターの概要」
<http://www.jccme.or.jp/japanese/11/pdf/2011-02/01.pdf>

③ 研修

ア. 中東講座

平成 22 年 11 月 11 日、東京麹町のホテルルポール麹町において会員企業を中心に 100 名強の参加者を得て標記講座を開催した。

<http://www.e-search.ne.jp/~jccme/PDF/35-5-09.pdf>

本事業は中東関係業務に携わっている会員企業、関係機関、団体等の若手・中堅社員を対象に、中東研究者及び実務家の方々を講師に招き、中東における諸問題の歴史的背景、社会文化の特色、政治・経済及びエネルギー問題の動向等を紹介し、参加者の中東理解をより深めることを目的とするものである。

講師、テーマについては次の通り。

- 1) 出川展恒氏 日本放送協会 放送総局解説委員室 解説委員
「最近の中東情勢」
- 2) 脇祐三氏 日本経済新聞社 論説副委員長 兼 編集委員
「中東の構造変化とビジネスチャンス」
- 3) 池田誠一郎氏 千代田化工建設株式会社 執行役員 技術部門 副部門長
「超大型 LNG プラント建設への挑戦」
- 4) 美甘哲秀氏 丸紅経済研究所 所長
「中東エネルギー情勢」
- 5) アルモーメン・アブドラー氏 大東文化大学国際関係学部講師、サウジアラビア王国大使館文化部スーパーバイザー
「アラブ人取扱説明書」



谷川専務理事挨拶



出川講師



脇講師



池田講師



美甘講師



アルモーメン講師

2 予想される事業実施効果

① 国際交流

ア. イスラエル先端技術フォーラム

イスラエルが世界的に優位に立つ先端産業分野を広く日本の機械工業界に紹介し、技術提携等今後の関係の発展・強化が期待された。

② 調査・研究

ア. 中東・北アフリカ経済情勢調査

本調査事業では、情報量の比較的少ない中東諸国を対象に、我が国企業が関心を有するテーマをその都度選定し、中東での職務経験の豊富な調査員を現地に派遣し、出来るだけ具体的な実態調査を実施しているので、その報告書は中東ビジネスに関心を有する企業にとって最新の有力情報として活用が期待される。

イ. 中東・北アフリカ政治経済分析

最新の中東情報（論文）を海外から入手し、分析・検討を加えて中東に関する必要な情報を会員企業他関係団体に提供するものであり、今後、企業が同地域に投資を進める上で有効な情報としてその活用が期待される。

③ 研修

ア. 中東講座

中東の政治、経済、社会・文化、エネルギー等の分野に関する入門講座であるが、各分野の専門家及び実業家による講話は中東経験者にも好評であり、中東を考察する上で参加者の今後の中東ビジネス推進に役立つ講座であると期待される。

3 本事業により作成した印刷物

① 国際交流

ア. 中東先端産業ビジネスフォーラム

「イスラエル エコ・ビジネス フォーラム」

ブックレット 作成部数 600部

② 調査・研究

ア. 中東・北アフリカ経済ビジネス動向調査

「中東における植物工場の展開の可能性に関する調査」

作成部数 120部

「アラブ首長国連邦等における廃棄物処理・リサイクル分野への日本企業参入の可能性に関する調査」

作成部数 120部

イ. 中東・北アフリカ政治経済分析

「中東諸国の現状と今後」 作成部数 110部

③ 研修

ア. 中東セミナー

「中東講座」 テキスト 作成部数 120部

4 事業内容についての問い合わせ

団 体 名： 財団法人 中東協力センター（チュウトウキョウリョクセンター）

住 所： 〒102-0075

千代田区三番町8-1

代 表 者： 会長 奥田 碩 （オクダ ヒロシ）

担 当 部 署： 総務部（ソウムブ）

担 当 者 名： 総務部長 中島 馨 （ナカジマ カオル）

電 話 番 号： 03-3237-8026

F A X 番 号： 03-3237-8018

E - m a i l： nakajima@jccme.or.jp

U R L： <http://www.jccme.or.jp/>